

募集

公益社団法人 私立大学情報教育協会

平成24年度 大学教職員の職能開発 開催日程・募集概要

平成24年

月日	会議名	会場
8月7日(火)	教育改革FD/ICT理事長学長等会議	都内大学予定
8月10日(金)	ICT利用による教育改善研究発表会	東京理科大学(九段校舎)
8月23日(木)	大学情報セキュリティ研究講習会	獨協大学
9月4日(火)～6日(木)	教育改革ICT戦略大会	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)
9月5日(水)	短期大学教育改革ICT戦略会議	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)
未定	大学職員情報化研究講習会 [応用コース]	未定
11月27日(火)	第5回臨時総会	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)
11月30日(金)	教育改革事務部門管理者会議	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)
12月上旬	北海道・東北地域事業活動報告交流会	未定
12月上旬	関西・中国・四国地域事業活動報告交流会	未定
12月上旬～中旬	九州地域事業活動報告交流会	未定

平成25年

月日	会議名	会場
1月11日(金)	新年賀詞交歓会	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)
未定	FDのための情報技術講習会	未定
3月28日(木)	第6回臨時総会	アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

ICT利用による教育改善研究発表会

日 時：平成24年8月10日(金) 10:00～16:10

場 所：東京理科大学(九段校舎)

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省

参加対象：国公立大学・短期大学の教職員、賛助会員

全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD(ファカルティ・ディベロップメント)活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上を図ることを目的として、平成5年より実施しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞を、またこれに次いで優れた発表に対しては協会賞を授与し、その教育業績を顕彰します。

大学・短期大学では、教育方法の改善、教員の意識改革、教育業績の評価など、個々の教員はもとより組織としてのFDへの取り組みが課題となっています。この発表会は、今後の教育活動に示唆を与えるものですので、大学教職員の皆様におかれましては、ぜひご参加下さい。

【本発表会のねらい】

教員個人や大学・学部等組織レベルでのICTを利用した教育改善の取り組みと効果を公表することで、教育方法の改善、教員の意識改革、教育業績の評価など、大学・短期大学の課題の解決策を提案し、教育の質的向上を図る。

本年度発表件数：54件(発表一覧は後掲のWebをご覧ください)

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員 : 7,500円(税込)

非加盟大学・短期大学 : 15,000円(税込)

*参加者(本協会加盟校に限定)には当日の発表スライド(許可が得られたもの)を後日閲覧できるようにします。

開催要項、発表一覧、申し込みは、下記Webをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/12houhou>

教育改革ICT戦略大会

日 時：平成24年9月4日（火）・5日（水）・6日（木）

会 場：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

主 催：公益社団法人私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省

参加対象：国公立大学・短期大学の教職員、賛助会員

テーマ 「質保証を目指した教育改革」

開催趣旨

平成20年12月の「学士課程教育の構築に向けて」の答申後、各大学における教育課程の体系化、単位制度の実質化、教育方法の改善、成績評価の厳格化への改革努力が期待されてきたが、国民や産業界は質保証に向けた改善への取り組みについて満足していない。成長社会から成熟社会へと移行しつつある現在、社会の構造的な変化に対応した大学の人材育成の在り方が求められるようになってきており、未知の時代を切り拓く力を獲得できる質の高い教育の実現に向け、国をあげた大学改革プランの実践が課題とされてきている。

そこで本大会では、大学改革を着実に進めていくための戦略について、大学関係者で意識合わせし、具体的に取り組むための教育課程の体系化・総合化、質的転換を可能にする学修の仕組み、ICT活用を含めた教育・学習環境などについて課題を整理し、解決策を探究する。また、公募によるICTを活用した教育や支援の事例紹介、大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介（ポスターセッション）を通じて、各大学の取り組みや現状を把握するとともに、教育ならびに支援の改善策を模索する。

9月4日 全体会

講演：主体的な学修を実現するための課題

基礎学力の低下、学習意欲の低下という問題を抱える中で、生涯にわたり主体的に考える力を育成していくことが求められている。そのためには、これまでの受け身の教育から課題解決型の教育に転換することが避けられない。学生が授業の前後に自主的に学びに取り組むことが必要である。しかし、実態は教室内での学修にとどまることが多く、自ら進んで取り組む学修が組織的に展開されていない。中央教育審議会分科会大学教育部会の答申を踏まえて、教員の意識改革、学士課程教育の体系化など、総合的な視点から学修の質的転換を図るための課題を整理する。

中央教育審議会大学分科会大学教育部会専門委員

学校法人上智学院理事長 高祖 敏明 氏

講演：学修の基本問題を実現するための教学マネジメントの考察

学士課程教育の質的転換を図るための基本的な課題を踏まえて、教学マネジメントとして対処すべき問題を具体的に掘り下げ、共通認識を深める。例えば、事例をもとに学士課程教育の体系化・順次性をもたせた教育プログラムの必要性、授業科目間の調整、教員相互によるシラバスの内容点検・調整、効果的な事前・事後学修のあり方などの方向性を紹介する。

中央教育審議会大学分科会大学教育部会専門委員

学校法人早稲田大学理事 田中 愛治 氏

事例紹介：教育課程の体系化・順次性への取り組み

教員同士の連携・協力による組織的な教育体制について理解を深めるため、実践している大学の事例をもとに、学士力の明示化、科目の位置づけ、授業履修の上限、アドバイザーの導入による履修指導、ポートフォリオの活用、GPAの厳格運用など、教育課程の基盤環境を形成するための制度的な枠組みについて、その重要性を確認する。

国際基督教大学 学務副学長 森本あんり 氏

事例紹介：予習を徹底した話し合い学習法

教室外での学習時間を確実に高める学習の仕組みとして、事前に課題を与えて予習を義務付け、学習した内容を授業で発表することを繰り返す中で、事前学習を主体的に取り組ませる授業（LTD話し合い学習法）の実体験について紹介する。学生が自然に学びに入り、達成感が得られるような学習の仕組みが今後組織的に取り入れられるよう、その重要性について共通理解を深める。

神戸女学院大学 文学部教授 古庄 高 氏

事例紹介：LMS導入による効果的な事前・事後学修

学習時間を確保し、効果的な学びを実施するための一つの手法として、ICTを用いた学習支援システムの中で、教員と学生の双方向による個人学習支援を学部全体の問題として取り組んだ事例を紹介する。教員ICT活用に対する理解の呼びかけや、教員間で作成した共有コンテンツの開発など、教員が学部全体で連携して事前・事後学修に取り組むことの重要性や課題について共通理解を深める。

名古屋学院大学 経済学部教授 児島 完二 氏

9月5日 テーマ別自由討議**【分科会A】学習意欲を引き出す学びの仕掛け**

課題提起：西南学院大学 毛利 康俊 氏（法学部教授）

武蔵大学 松島 桂樹 氏（経済学部教授）

【分科会B】大学における情報リテラシー教育の方向性と高校教育との接続

課題提起：公益社団法人 私立大学情報教育協会 情報教育研究委員会

副委員長 斎藤 信男 氏（文教大学情報学部客員教授）

委員 渡辺美智子 氏（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授）

大原 茂之 氏（東海大学専門職大学院組込み技術研究科長・教授）

玉田 和恵 氏（江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授）

大学入試小委員会委員

寛 捷彦 氏（早稲田大学理工学術院基幹理工学部教授）

東京都立小石川高等学校

天良 和男 氏（教諭）

【分科会C】ICTを活用した課題解決型の能動的学修

課題提起：筑波大学 石田 東生 氏（学長補佐、教育企画室長）

玉川大学 菊池 重雄 氏（教学部長）

【分科会D】クリッカー技術を始めたとした双方向授業

課題提起：立正大学 今井 賢 氏（副学長、経済学部教授）

東京理科大学 村上 学 氏（基礎工学部准教授）

9月6日 大会発表（66件）

後掲のWebより発表一覧をご覧ください。

その他に以下内容も同時に実施します。

情報交流会：9月5日（水）

大学・企業によるICT導入・活用事例（ポスターセッション）：9月5日（水）～6日（木）

*参加者（本協会加盟校に限定）には当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。

参加費 3日間参加（割引）加盟校 20,500円→18,000円 非加盟校 41,000円→36,000円

9月5日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

参加費はすべて税込金額	9月4日（火）	9月5日（水）	9月5日情報交流会	9月6日（木）
加盟大学・短期大学、賛助会員	7,500円	6,500円	3,500円	6,500円
非加盟大学・短期大学	15,000円	13,000円	3,500円	13,000円

開催要項、9月6日（木）発表一覧、申し込みは、下記Webをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2012.htm>